

幸せな贈り物

## 第二のキム・キルテをまた作ることはできません

ある土曜日の夕方でした。私はジュンソ（仮名）といっしょに夕食を食べました。ジュンソは、機嫌良くカレンダーをめくりながら、しるしをつけていました。

「4月28日はぼくの誕生日、6月15日はパパの誕生日、8月1日はママの誕生日、8月31日は…」突然、ジュンソが何も言わなくなって、カレンダーだけめくりはじめました。「ジュンソ、8月31日はなんの日なの」私はジュンソの背中をなでながら尋ねました。「ぼくの家族がばらばらになった日」ジュンソの背中がふるえているのを感じました。心が切られるようでした。私はジュンソを静かに抱いてやりました。年齢より体格が小さいジュンソは、ふところにすっぽりと入ってきました。

「8月31日は、ジュンソには、とっても悲しい日だったのだね。しかし、離婚したからと言って、お父さん、お母さんが悪い人なのじゃないよ。神様に会えなかったの、そうするしかなかったんだよ。ジュンソ、神様に会えない人は、罪とのろいの下にいるから、悲しみと苦しみの中で生きて行くしかないんだ。だから、神様はあなたを呼ばれたのだよ。ヨセフのように、モーセのように、家族の傷を土台にして、あなたのように痛い思いをしている人々を生かす指導者になるうね」

私はジュンソをもっとしっかりと抱いてやりました。そして、考えました。この子どもが福音を聞けなかったら、その心の傷を毒キノコのように育てていただろうなということ。

社会的に大きく論争されたキム・キルテのことをご存じでしょうか（訳者注：女性を暴行殺人した犯人）。ところで、今でもあちこちで第2、第3のキム・キルテが育っているところです。幸せな子ども時代を送るべきなのに、多くの子どもが、幸せな思い出がなく、暖かく世話してもらってもなく育ち、他の人の感情を思いやることができないサイコパスに成長していています。

なぜ、このようになるのでしょうか。子どもの世話をする力が親にないからです。心は子どもの世話

をしたいのですが、力がないので子どもをほったらかしにしたり、怒る対象に思えて、子どもに傷を与え、怒りを植えるようになるからです。しかし、その奥には根本的な原因があります。神様を離れたからです。

人間は、神様とともにいるように創造された霊的な存在です。人間は、神様のみことば（約束）を離れれば死ぬように造られた神のかたちです。それが、善悪の知識の木の実の約束です。取って食べれば死ぬということは、善悪の知識の木の実自体に毒があって死ぬということではなく、神様を離れば死ぬということです。「神様との約束を離れなさい！あなた自身が神様になりなさい！」というささやきは、悪魔にだまされることです。それで、神様の約束を破った人間は、悪魔に真の幸せを盗まれるようになりました。

その時からすべての人間は、罪とのろいの原理にひっかかって、生涯、苦しんで生きようになったのです。のろいだということも知らないまま、偶像崇拜をするようになりました。運命と生年月日による運勢に縛られて、前世で悪いことをしたからだと胸をたたいて嘆くだけになってしまいました。もっと残念なことは、そのすべてのことをそのまま子どもに譲って、地獄に行くようになったのです。

それで、神様はその問題を解決するために、キリストを送ってくださいました。キリストという言葉は、本来「油を注がれた者」という意味です。旧約聖書時代には、祭司、預言者、王を任命するとき、頭に油を注ぎました。

祭司は人間の罪を神様の前に持って出て行って礼拝した人です。預言者は神様に会うように道を知らせる人です。王は権威を持って国を治める人の



ことを言います。それで人間の罪をあがなうために、かならず罪のないからだが必要ならばなりません。

そして、キリストという証拠で、復活してサタンの権威をうち破らなければなりません。そのキリストのすべての条件を満たした方が世に来られました。その方がイエス様です。

イエス様は聖書に約束されたとおり、この世に来られ、十字架で血を流して死に、3日後に復活され、神様に会う道となられ(ヨハネの福音書 14:6)、すべての罪と呪い、生年月日による運勢、運命から解放させる道になられ(ローマ人への手紙 8:2)、サタン(悪魔)のしわざを滅ぼされて、その手に捕まって奴隷のようにになっている者たちを解放する道になられました(ヨハネの手紙第一 3:8、ヘブル人への手紙 2:14-15)。

### この世のすべてのジュンソのお父さんお母さん！

「私も前に教会に通っていました！」と言う方にも多く会いました。教会の建物に入られたことがあるかもしれませんが、本当に人間の問題をイエス・キリストが解決されたことを信じられましたか。

イエス様が人間のすべての問題を解決されたキリストだという事実を信じて、心の主人として受け入れてこそ、人間の問題は解決されるのです。イエス様が主人になられてこそ、家族の崩壊を防いで、家庭の真の祝福を回復するようになります。

私もまた幼いころに母が死に、心の苦しみを多く持って育ちました。ほめことばがうれしくて、暖かい関心を受けたくて、ずいぶん悪い言葉を吐き、乱暴な行動をしました。そのような私に大人たちは「あいつは、大きくなったら何になるつもりなのか」と言っていました。

そのような私に、幸せが訪ねてきました。教会に通いながらも漠然としていただけのイエス・キリストを正確に知るようになって、その方を信じて神様の子どもになりました。その瞬間から真の幸せが始まりました。

しかし、もしイエス様に会えなかったら、私もキム・キルテのような人に成長したかもしれません。心の傷を毒キノコのように抱いて社会を敵対視して、毎日を送るようになっていたかもしれません。

私はもう2人目のキム・キルテのような人を作ってはならないと考えています。そのためには、イエス・キリストの御名を信じ、神様の子どもにならなければなりません。その道だけが、夫婦問題、社会問題を防ぐ唯一の道なのです。

「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」  
(ヨハネの福音書 1:12)

### 神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決して下さったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来て下さって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

### 神様の子ども五つの確信

- 1 **救いの確信**：イエス・キリストを信じて受け入れた私は、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、Iヨハネ 5:10~13)
- 2 **祈り答えの確信**：神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 **導きの確信**：神様は聖霊で私の中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)
- 4 **赦しの確信**：私のすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 **勝利の確信**：救われた私は、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、Iヨハネ 5:4)

### 神様の子ども毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

そして、私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされ、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



## 変化のための献身

あるホームレスの死がアメリカのティーンエイジャーの心を泣かせました。

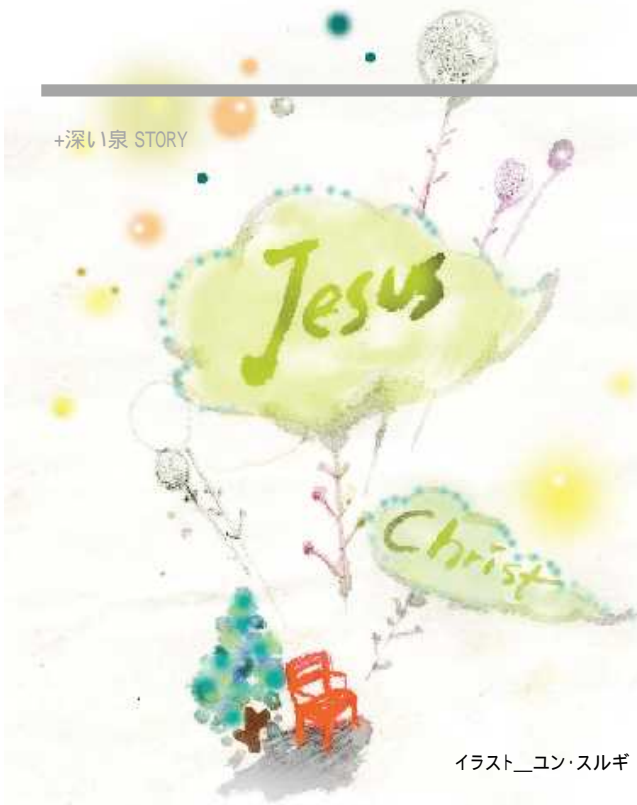
「名前も姓も知らなかった。家も家族もない、徹底的にひとりぼっち。彼が世を捨てたように、世も彼を捨てたと思っていた。彼が息をひきとる前までは」(ナタリーが見た羊の手紙より)

全アメリカのホームレス援助連盟(NAEH)によれば、2007年度を基準にしたアメリカの全体のホームレスは67万人あまり。彼らの大部分は、道の上で身元不詳のまま痕跡もなく生涯を終えます。

昨年12月18日、カリフォルニア州セノジェイの路上で、あるホームレスが息をひきとりました。警察が探したホームレスの遺品には、新しい服と履き物、毛布とお金がいっぱいありました。すべて、町の住民たちが置いて行ったものでした。名前を明らかにしない大部分のメモにはこのように書かれていました。「お願いですから、そのまま使って下さい。同情ではありません。あなたも私たちの隣人であるから、分かち合いたいです」3ヶ月が過ぎた今も、彼が住んでいたところにある木には「あなたがなつかしいです」という札もかかっていました。しかし、彼らの献身は、そのホームレスに真の変化を与えることはありませんでした。

今、私たちの現場には、真の変化を切実に願ってあがいている人があまりにも多くいます。しかし、なぜできないのでしょうか。だめな道を見つけて行っているからです。私たちは、福音を持っている者です。現場は今、差し迫った状況です。真の変化を待っています。はやく講壇のみことばを握って、イエス・キリストのなかで定刻祈りを始めるように願います。すべてのことをみことば運動で、現場を生かす地教会の目で見ると願います。このために、教会の中で働き人を探し、新しい家族が答えを受けると助けてあげるのは、このために、教会の中にある専門家とエリートが正しく力を受けることができるように助けてあげるのは、なぜ教会の中で働き人を探し、新しい家族と専門家、エリートを助けるのでしょうか。彼らは伝道の門です。彼らのうしろには、ものすごい黄金漁場があるためです。福祉の働き、文化の働き、外国人の働き、脱北者の働きも、また、この理由です。政治家と芸能人が神様の前に立つように手助けする理由も、また、この理由です。みなさんは、神様に立てられた重職者です。重職者ひとりの影響が、現場でどれほど大きいか、決して忘れないように願います。





イラスト\_ユン・スルギ

ジョン・バンヤンが書いた「天路歷程」の主題は、この世は、必ず滅びる町(破滅の町)のようなので、正しい福音を宣伝伝えなさいということだ。

そのとおり。神様に会えない人間は、理由も知らず苦しみを受けている。それで、霊も肉も罪の中から抜け出すことができず、結局、真の礼拝の対象を見つけれないまま、さまよっているのだ。

すべての人間は、迷信と偶像崇拝を通して悪魔をなだめようとして、占いやお祓いをして、運命から抜け出そうと必死の努力をする。しかし、すればするほど、沼にはまった人のように、問題にもっと陥ってしまうようになる。吉日を選び、方角やお墓の位置にも神経を使うのだが、クモの巣にかかった虫のように、悪魔に縛られる人生を送っていく。

そうしていると、精神と心が苦しむようになって、いつも不安で、不平不満に縛られるようになるのは当然な結果だ。ストレス、ノイローゼ、不眠症、うつ症状など、おかしい問題にかかり苦しむようになり、肉体にまでその影響が及ぶので、肉体もまた少しずつ不治の病、うつ病、悪夢と金縛りに苦しめられるようになる。また、病院に行っても何の病気が分からない病気に苦しめられ、そのように続けて死の中でとぼとぼ歩いて行くしかなくなる。

より一層残念なのは、こういう苦しみがその人の代で終われば良いのだが、こういう問題の原因が神様に会うことができない霊的な問題なので、その霊的な遺産は子孫にもそのまま伝えられる。肉的に譲るだけではなく、自分も知らないうちに苦しめられている霊的な問題まで、そのまま伝えられるのだ。

## 唯一の解答は「キリスト」

「それなら、死ぬならこの苦しみから逃れられるのでしょ」

人々は死ねば、すべてが終わると思って、最悪の選択をする。しかし、死ねばすべてが終わるのだろうか。残念なことに、そうではない。地獄のような人生を送り、死んでも地獄に行くのが神様を離れた人間の実存なのだ。

こういう人間が、善行をして、自分から救いを見つけようとしても、根本問題である神様を神様を離れた問題が解決することはない。それで、神様が唯一の解決をくださったのだ。

神様は人間の根本問題を直接解決してくださるために、自らが人間のからだで来られ、十字架と復活の権威でサタンの権威をうち破られた。この方がまさにイエス・キリストである。神様はみことばが人となって、私たちの中でご自身に会うことができる唯一の解答になってくださった。

イエス様を信じた瞬間、ただちに身分が変わるようになり、サタンの権威から解放される。あわせて、死の権威と地獄から解放される。イエス様を受け入れれば、神様の子どもになる。聖霊がいつもともにいてくださり、すべての生活を導かれる。分かるうが、分かるまいが、救われたその瞬間から、聖霊が同行される。そして、その時から祈れば答えられる鍵を受けるようになる。あわせてサタンに勝てる神様の子どもの権威もまた与えられる。そして、神様は天の御使いを送って、神様の奥義を成し遂げられる。最後に、この世に生きる間、絶対に揺れないように天の市民の保証が与えられる。

これが聖書が話す唯一の解答「福音」だ。

\*相談したい方はこちらまでどうぞ